

意見等を踏まえた主な変更点

項目	2次案 (パブリックコメント版)	3次案	変更理由
はじめに			
1 頁 1 策定の趣旨 3 段落 4 行目から	復興事業の総仕上げを視野に復興の先も見据えた地域振興に取り組む。	復興事業の総仕上げを視野に復興の先も見据えた地域振興にも取り組みながら、復興を推進する。	「更なる展開への連結期間」として、地域振興の取組を推進することと、復興の取組を推進することを明確にするもの。
第1 第2期実施計画の取組の総括			
3 頁 1 概要 (1) 進捗状況 1 段落 1 行目から	第2期実施計画の構成事業の進捗をみると、進捗管理のため、事業毎に設定された409指標中、計画値に対する進捗率が80%以上の指標が80.9% (331指標)であった。	第2期実施計画の構成事業の進捗をみると、進捗管理のため、事業毎に設定された409指標中、計画値に対する進捗率が80%以上の指標が80.4% (329指標)であった。	2期末実績の見込みを1月末時点で再調査し、時点更新を行うもの。 左欄のほか、該当する箇所の数値、グラフを修正している。
9 頁 1 概要 (4) 課題 1 段落 1 行目から		第3期においても、関係者がより緊密に連携し、それぞれの事業の状況に適切に対応して、計画の達成に向けて事業の推進を図っていく必要がある。	第3期の事業の推進に係る課題の認識について追加するもの。
9 頁 1 概要 (4) 課題 3 段落 4 行目から	また、地域経済に大きく貢献をしてきた復興事業の減少に伴う影響についても考慮していく必要がある。	また、地域経済に大きく貢献をしてきた復興事業の完了やそれに伴う工事関係者の減少等の影響についても考慮していく必要がある。	復興事業に係る工事関係者の減少に伴う影響について追加するもの。
第2 第3期実施計画の考え方 3 復興に向けた3つの原則ごとの取組方向			
18 頁 (1) 「安全」の確保 2 段落 1 行目から	具体的には、防災のまちづくり分野では、復興まちづくりの基盤となる防潮堤等の海岸保全施設や湾口防波堤の復旧・整備や、市町村が行う復興まちづくり事業への支援、自主防災組織の育成や	具体的には、防災のまちづくり分野では、復興まちづくりの基盤となる水門・陸こう自動閉鎖システムを備えた防潮堤等の海岸保全施設や湾口防波堤の復旧・整備や、市町村が行う復興まちづくり事業への支援、自主防災組織の育成や	「より良い復興 (Build Back Better)」に向けた取組を進める視点から追加するもの。

項目	2次案 (パブリックコメント版)	3次案	変更理由
20 頁 (2) 「暮らし」 の再建 3 段落 2 行目から	保健・医療・福祉分野では、 (中略) 被災地における地域包括ケアシステムの構築支援に取り組むほか、医師、看護職員等の確保・定着を図るための取組などを進め、被災者が安心して暮らせる支援体制の構築に取り組む。	保健・医療・福祉分野では、 (中略) 地域の医療と介護をつなぐ情報ネットワークシステムなどを活用した地域包括ケアシステムの構築支援に取り組むほか、医師、看護職員等の確保・定着を図るための取組などを進め、被災者が安心して暮らせる支援体制の構築に取り組む。	「より良い復興 (Build Back Better)」に向けた取組を進める視点から追加するもの。
20 頁 (2) 「暮らし」 の再建 4 段落 1 行目から	教育・文化分野では、いわての復興教育の推進や幼児児童生徒のこころのサポートの実施に取り組む。	教育・文化分野では、復興教育副読本の効果的な活用や、学校・家庭・地域・関係機関が連携した実践的な防災教育の一層の充実を図り、引き続き、いわての復興教育を推進するとともに、幼児児童生徒のこころのサポートの実施に取り組む。	
第3 第3期実施計画の施策 1 復興に向けた3つの原則に基づく具体的取組			
27～32 頁 (1) 施策体系		構成事業として、以下の5事業を追加した。 ・地域包括ケア基盤確立事業 ・被災地コミュニティ支援コーディネート事業 ・いわて若者活躍支援事業 ・被災地域農業復興総合支援事業 ・三陸観光地域づくり推進事業	予算編成における調整等を踏まえ、事業を追加するもの。 そのほか、所要の修正を行っている。
35～73 頁 (2) 構成事業の概要と実施年度			平成 31 年度以降の実施年度について、国の復興期間との関係が分かりやすいようにタイトル行の表現を修正するもの。 そのほか、掲載事業の名称や事業概要等について所要の修正を行っている。

項目	2次案 (パブリックコメント版)	3次案	変更理由
2 三陸創造プロジェクト			
92 頁 1 段落 1 行目から	三陸地域においては、 <u>東日本大震災津波の発生以前から課題とされてきた人口減少の進展に加え、復興事業の減少などによる地域の社会経済の活力の減退によって、産業や地域コミュニティの担い手の不足、消費需要の減少による地域経済の縮小などが懸念される。</u>	三陸地域においては、 <u>有効求人倍率が高い水準で推移している一方、県平均を上回る人口の社会減が続いていることから、復興の先を見据えて、地域の状況に合わせた新しい産業の振興や交流人口の拡大、魅力ある地域づくりなどの取組を進めていくことが必要である。また、復興事業の完了やそれに伴う工事関係者の減少等による地域経済への影響などが懸念される。</u>	従来からの課題と今後懸念されることを分けて整理したほか、工事関係者の減少について追加するもの。
106 頁 脚注	(さんりくエコタウン形成プロジェクト)	(さんりくエコタウン形成プロジェクト) ※ <u>再生可能エネルギー：自然界にある非化石エネルギーで、一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源のこと。例えば、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなど。</u>	パブリックコメントにおいて、用語の説明が欲しいとの意見があったことを踏まえて、脚注を追加するもの。 左欄のほか、他のプロジェクトも含めて、計3か所に脚注を追加している。